

EVENTS

KWANSEI GAKUIN SENIOR HIGH SCHOOL

要予約

オープンハイスクール

日程によって実施内容は異なります。詳細はホームページへ。
オープンハイスクール参加者へは入試要項・昨年度の入試問題を配布します。

2024年 7/13(土)・9/21(土)・11/16(土)

8/31(土) クラブ体験会 11/16(土) KGイベント

◎申込み方法(※要事前申込み)・・・本校ホームページ内の「入試情報」へアクセスして申込み

<https://sh.kwansei.ac.jp/> 関西学院高等部 検索



予約不要

文化祭

2024年 11/2(土) 予約は不要です。時間等の詳細は本校ホームページをご覧ください。

※ 要予約イベントに関しましては、順次、ホームページにて申込受付を開始します。
※ 状況に応じて開催を延期・中止させていただく場合があります。最新の情報を本校ホームページにてご確認ください。
※ ご来校の際は公共交通機関をご利用ください。
※ KGイベントでは例年、第一部に学校・入試説明、第二部では各クラブや生徒による発表等を行っています。

ACCESS

[大阪・神戸から最寄り駅まで]

▶大阪より

阪急電鉄 大阪梅田 15分 西宮北口 5分 甲東園
神戸線 (特急停車) 今津線

JR 大阪 12分 西宮
神戸線 (快速停車)

▶神戸より

阪急電鉄 神戸三宮 15分 西宮北口 5分 甲東園
神戸線 (特急停車) 今津線

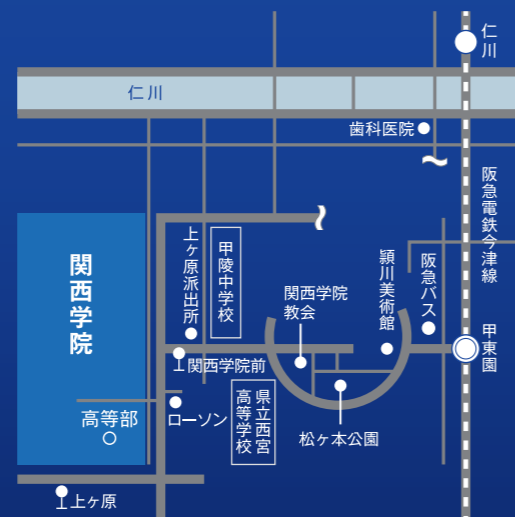
JR 三ノ宮 14分 西宮
神戸線 (快速停車)

[最寄り駅からの所要時間]

阪急電鉄 甲東園 バス5分 関西学院前
徒歩15分

阪急電鉄 仁川 徒歩15分

JR 西宮 バス15分 関西学院前



"Mastery for Service"

感謝・祈り・練達



関西学院高等部

KWANSEI GAKUIN SENIOR HIGH SCHOOL

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155

TEL: 0798-51-0975 FAX: 0798-51-0973

<https://sh.kwansei.ac.jp/>



〈公式ホームページ〉



〈公式Instagram〉



学校案内 2025
関西学院高等部

Mastery for Service

“奉仕のための練達”

1889年、創立者ランバス宣教師により、わずか教員5名・生徒19名で産声をあげた本学院。

ランバスが貫いた「真の世界市民として世界万民のために献身する」生き方は、第4代院長ベーツにより、スクールモットー“Mastery for Service (奉仕のための練達)”として明文化され、国際性、自由と自治の精神、そして本学院で学ぶ意義の礎となり、約130年の時を経て総合学園となった今も、揺らぐことのない魂として、教職員・生徒たちの中に流れ続けています。



「自由と自治」は自律から

生徒たちが自律する意識を高め合い、築き上げてきた、「自由と自治」の校風。

「人間とは」「生きるとは」を、キリスト教を通して問い続け、考え続ける礼拝。文系・理系にとらわれない多彩なカリキュラムから、自由に探究できる学びの環境。

生徒たちは、自身の興味関心を探究する中で、心身ともに、日々力強く成長を続けています。





What do you learn?



Open
高等部の学びは
コチラから

Learn about life.

生きることを学ぶ

～未来に続く関西学院高等部の学び～

関西学院高等部

社会に貢献するために未来を見据え、自らを磨く高等部の学び

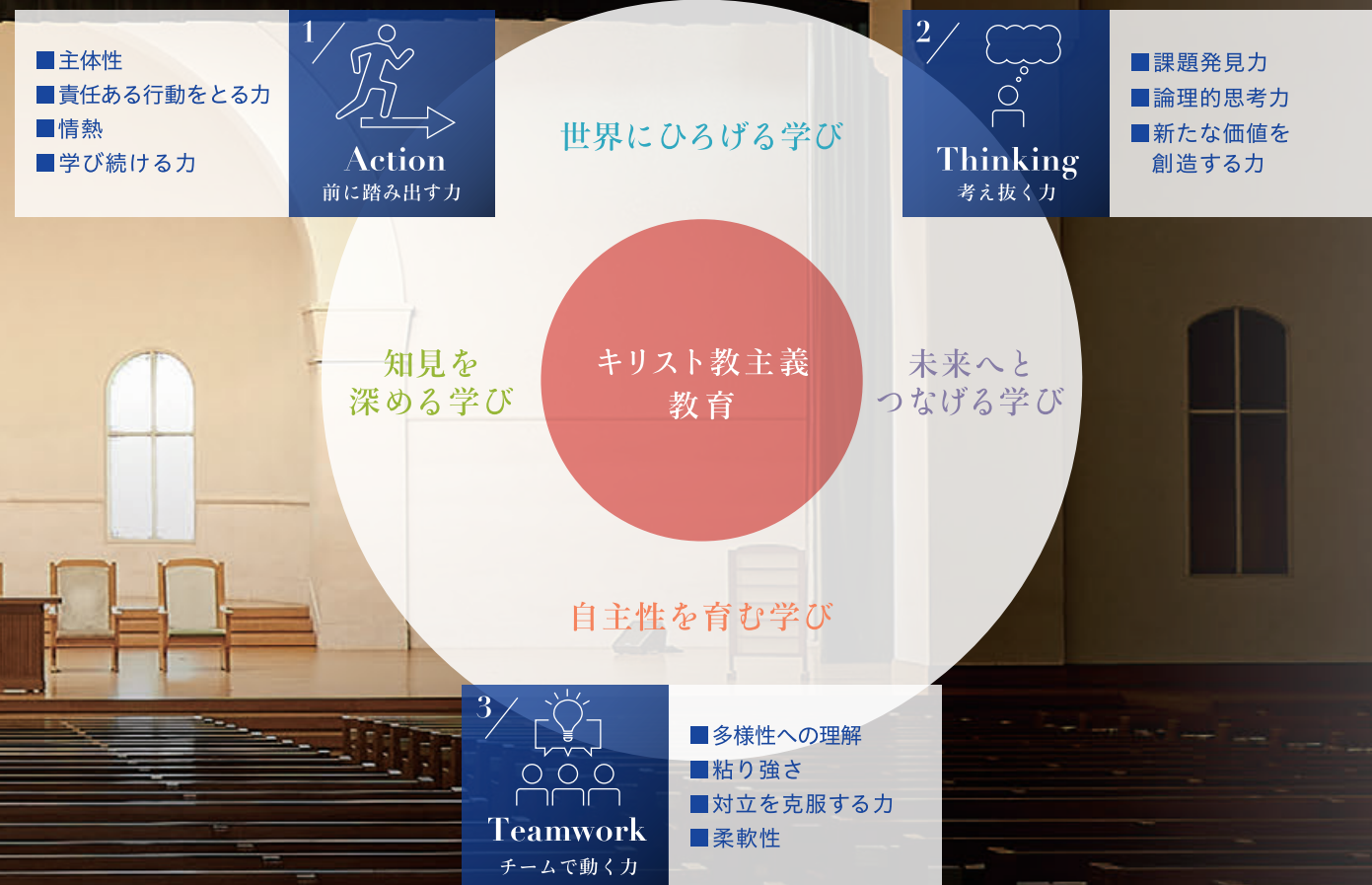
条件を満たせば全ての生徒が
関西学院大学に進学できます
詳細は P.27 へ

関西学院大学

高等部で追究した興味・関心の専門性を深める

社会

多彩な学びを通して身につけた力は社会で大きく花開く



高大連携により多彩な学びを実現

【具体的な取り組み】

- ・キリスト教行事や多くの選択科目を大学の教授・講師が担当
- ・高大連携科目では実際に大学の授業に参加し単位修得が可能
- ・多くのクラブ活動で、大学生がコーチとしてサポート

14の多彩な学部が学びをサポート

神学部	文学部	社会学部
法学部	経済学部	商学部
人間福祉学部	詳細は P.28 へ	国際学部
教育学部	総合政策学部	理学部
工学部	生命環境学部	建築学部



「社会に貢献するための3つの力」を磨き、どう生きるかを考える

関西学院高等部では、キリスト教の精神を持ちながら、幅広い学びを通じて自身の興味関心を知り、探究心を育みます。そして多岐にわたる取り組みの中で「生きること」を考えます。これらの学びは、現代社会で必要とされる3つの力、「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで動く力」を包括的に磨き、すべての人々に貢献する世界市民となるべく、今を生きる力を養います。「私はここで何を学ぶのか」、それぞれの学びに目的を持つことが関西学院高等部の学びの第一歩です。



キリスト教主義教育

聖書「を」学ぶではなく、聖書「で」学ぶ。
人権とは、生きるとは何か、
そこにどう向き合うのか。
「なぜ」を通じ、心を磨くキリスト教主義教育
により、自らを鍛えて、隣人・社会・世界に
奉仕する人間となることを目指します。

「共に生きる」ことを学ぶ授業や行事を通して、奉仕の実践に努める



礼拝

週に2回、キリスト教を土台とした講話を通じ、静かに自分を見つめる時間です。異文化理解、多様な価値観の共有、現代社会でも課題として挙げられるこうした問題に、あなたならどう向き合うか、どう生きたいか。そして、どんな自分でありたいかを自身に問いかけ、考えを深めます。



「聖書科」の授業

なぜ私たちは生まれたのか。なぜ世界は問題に満ちているのか。聖書を題材にしながそんな正解なき問いを深め、考える力を養います。この学びは人としての生き方や他人と協調する心、主体的かつ論理的に問題解決を図る思考力を育み、「生きる力」の源泉ともなる大切な学びです。



宗教週間の特別礼拝(宗教運動)

牧師による聖書のメッセージや、クリスチャンワーカー(キリスト教の立場で社会のために奉仕されている方)によるメッセージを聞きます。近年は、「核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)」でノーベル平和賞を受賞されたサーロー節子氏、男性同性愛者であることをカミングアウト(公言)したうえで、日本で最初の牧師となられた平良愛香氏などに来ていただきました。



キリスト教音楽コンサート

日本で、世界で活躍されているクリスチャンシンガーの方をお招きして、キリスト教音楽コンサートを行います。音響機材を入れて、チャペルを本格的なコンサート会場にします。近年は、レーナマリア、井草聖二、サルキー、MIGIWA、ナイトdeライトといった方々に来ていただきました。

▷ Key Point

人権教育

キリスト教主義教育を掲げる本校では、かねてより人権教育を重んじてきました。スクールモットーである“Mastery for Service”の体現を目的とし、自らを鍛えて、隣人・社会・世界に奉仕する人間となることを目指します。



人権プログラム

身近な生活の中の人権侵害や多様性(障がいやジェンダー・セクシャリティ)、社会的不公平(差別・格差)などをテーマに、学年ごとに様々な人権プログラムを実施しています。教科教育やホームルーム活動とも連携し、他者を受け入れる柔軟で幅広い人間観を身につけると共に、無意識に行われる差別を知り、自らのあり方を考えます。当事者の方のお話を伺ったり、仲間と共に意見を分かち合う中で、「世界市民」に成長する土台を築きます。





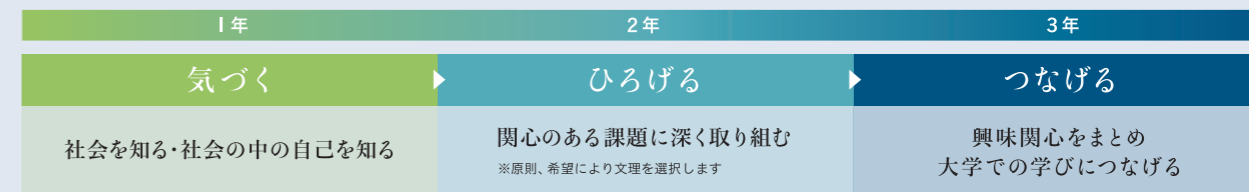
知見を深める学び

自主的な学びによって
興味関心を探究心へと進化させる。
基礎を固め、文理を融合した多様な領域
に触れられる環境だからこそ本当に学び
たいことに出会えます。

主体的に学ぶ経験を積み、探究心を育む

▶ Key Point カリキュラムの特徴

文系・理系にとらわれず多様な知識に触れ、基礎力や教養を高めていく過程で、おのずと学び方がわかります。それは、様々な学問領域を自由に、自主的に学ぶ意欲へとつながります。関西学院高等部では、全ての生徒が大学受験にしばられず、自分自身の興味関心に基づく学びを深めることができます。



文理の隔たりがない学びを通じ、知見をひろげながら大学に通じる基礎学力を身につけます。また、すべての科目で「探究」を意識し、教科書に記されている事象にも様々な見方や考え方があることを学びます。生徒たちは多様な考え方に触れ、その上で「自分はどう思うか」を考えることで、自らの興味関心の発見につながっていきます。

3年生になると、見つけた自分の興味を充実した選択科目の中で深めていきます。選択科目では大学の先生をはじめ、多くの外部講師の方々から教わり、専門的な知識を得ることで、自らの考えを多角的にとらえていきます。そして、「本当に学びたいこと」を見つけ、大学での学びにつなげていきます。

3年生の選択科目では、教科の学びをさらに深める講座、スポーツ・芸術分野の実技科目、多様な言語や関西学院大学各学部の入門講座など、多彩で専門的な科目が開講されています。人間形成や進路選択にとって大切な時期に、教養や人間性の幅を広げられる豊かな学びに出会えます。



体育実技（エクササイズ）

部活動でのパフォーマンス向上やケガ予防など、各々の課題解決に役立つよう、通常の体育の授業では取り入れにくいエアロビクスやストレッチ、スポーツ栄養学を通じて、バランス感覚や柔軟性、身体構造などを多角的に学びます。



関西学院大学での「高大連携プログラム」

「AI活用入門」（共通教育センター）や「行動科学入門」、「哲学入門」、「美学芸術学入門」（文学部）など大学の学部で開講されている実際の授業を受講し、大学の単位として修得することができます。（写真は法学部「日本国憲法」を高等部生が受講している様子です。）

2年必修選択・3年選択科目（2024年度） ※探究系科目は2年、3年連続で受講します

2年	3年（開講科目の例）			
〈一般科目系〉 ●国語 ●現代社会 ●日本史 ●世界史 ●数学（アドバンスト・ベーシック） ●英語（アドバンスト・ベーシック） 〈探究系〉 ●AI活用 ●ビースタディ ●グローバルスタディ ●サイエンス探究 ●アート思考 ●福祉 ●エネルギー	〈研究科目系〉 ●文学講読 ●微積分学 ●心理学 ●ビジネス会計セミナー ●プログラミング講座 ●命を考える ●ジェンダー・セクシュアリティを考える ●J-POPと絵本とキリスト教	〈実技系〉 ●体育実技（ゴルフ/テニス/ライフスポーツ/ダンス/ヨガ/エクササイズほか） ●美術実習（油絵/陶芸） ●音楽演習（声楽/器楽） ●書道 ●写真演習 ●舞台表現・演劇 ●発達と保育 ●クッキング 〈学際講座系〉 ●アントレプレナーシップ講座 ●関西学院学	〈語学系〉 ●時事英語 ●ハイレベル英語資格講座 ●Writing & Speaking ●ドイツ語 ●フランス語 ●中国語 ●韓国・朝鮮語 ●日本語	〈大学入門講座系〉 ●商学・経済学入門 ●法学・社会学入門 ●人間福祉学・教育学入門 ●国際学・総合政策学入門 〈探究系〉 ●AI活用・アドバンスト ●ビースタディ・アドバンスト ●グローバルスタディ・アドバンスト ●サイエンス探究・アドバンスト ●アート思考・アドバンスト

<2024年度入学生カリキュラム>

教科	科目	国語	地歴	公民	数学	理科		体育		芸術		家庭	情報	英語	総合的な探究	聖書	選択		ホーム	計	
						地学	化学	物理	生物	体育	保健	音楽	美術			読書		必修選択	選択		ルーム
1年		4		2	5	2		2	2	1	2			2	6	1	1		1	31	
2年	文系 (A~G組)	4	4		3	2			2	1		2	2		6	1	1	2	1	31	
	理系 (H, I組)	2	2		5		4	2		2	1			2	6	1	1	2	1	31	
3年	文系	A~G組	3	○4	○4	3			2						5	1	1		8	1	31
		H, I組	2	2	2	4	2				3				5	1	1		8	1	31
	理系 (H, I組)	2	2		6	2		☆4	☆4	3					5	1	1		4	1	31

※理科は科目名ではなく分野名。※2年生理系コースは3年進級時に文系か理系かを再度選択します。※カリキュラムは変更となる場合があります。

○は計4科目から1つ選択、☆はいずれか選択



世界にひろげる学び

探究心を刺激する実践的カリキュラムで、
世界にはばたく力を手に入れる。
未来を見据えた様々なプログラムに
取り組み、未知の自分にチャレンジします。
そして、社会に貢献し、人々に奉仕できる
世界市民を目指します。

身近な社会の課題から世界へ、持続可能な未来の創り手をめざす

▶ Key Point 世界市民となるための学び

高等部では世界とつながる様々な学びの場があります。プラクティカルイングリッシュや語学留学を通して英語力を高める場から始まり、海外の学校と身近な社会問題について取り組むグローバルスタディ、その集大成としての国際会議など、世界市民となるための学びを提供しています。



世界各国の多様な文化や価値観に触れることができるよう、海外の学生と交流する機会を多く設けています。

〈探究系科目〉グローバルスタディ(2、3年生選択授業)

海外の高校生と共に身近な社会問題の解決に取り組むプロジェクト型授業です。3年生では、授業中に海外の高校とオンラインでディスカッションを行い、互いの国が抱える社会問題について英語で話し合います。単なる英会話の練習ではなく問題を感じとり、分析、議論し、解決策を考えて実行する中で、多様な価値観を越えての協働と探究の学び、そして実践的スキルを深めます。



留学制度



海外の提携校を訪問して交流を深める、異文化体験のファーストステップとしての研修旅行から、現地での本格的な学びを体験する中・長期留学まで、内容や期間の異なる様々な留学制度を用意しています。

海外英語研修旅行	夏休み期間を利用した約2週間の研修。海外提携校での授業参加や、ホームステイなどを行います。毎年20名程度の生徒が参加しています。
中期留学	約3ヶ月間、オセアニア、北米などに留学。高等部に在籍しながら留学でき、毎年10名程度の生徒が参加しています。
長期留学	約1年間に及ぶ留学制度。高校を留年(休学)前提で行うもの、留年せずに行うものの2種類があります。毎年数名の生徒が参加しています。

<海外提携校一覧>
Brisbane Boys' College(オーストラリア)/Trinity Grammar School(オーストラリア)/Saint Kentigern College(ニュージーランド)
University School of Nashville(アメリカ)/Kingswood School(イギリス)
<奨学金> 海外中期・長期留学、国際交流プログラム参加者を対象とした関西学院高等部パルモア海外留学支援奨学金制度あり
※中期・長期留学は、留学団体を通しての留学となります。

フィリピンスタディツアー

夏休みには1週間のスタディツアーをフィリピンのイロイロ市で開催しています。英語を用いて現地の人々やNGOの大学生と交流し、フィリピンが抱える社会課題をリアルに体感しながら解決策を模索する探究型の研修です。



クラブ活動を通じた国際交流

一部のクラブでは、海外提携校等との交流・海外遠征を行っています。試合だけでなく現地コーチの指導を受けたり、部員の家にホームステイをしたりすることで、語学研修とは異なる経験も得ることができます。





未来へとつなげる学び

一人ひとりが自分の興味関心を深める。その過程で生まれた新たな問いを、さらなる学びへとつなげていく。様々な取り組みの中で気づき、深めた興味関心を読書科の卒業論文によって、まとめあげます。

主体的な探究を通じ、未来へとつながる学びの姿勢を身につける

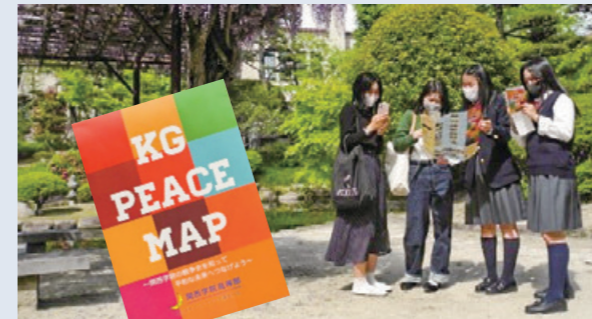
▶ Key Point 未来を創造する学び

受験勉強にしばられることのない学びの機会は、教室の中にとどまらず、様々な場面で与えられています。身近に起こっている問題を自分ごととしてとらえ、学校外の人たちとのつながりを通じて、問題解決のための自分なりの答えを見つけます。本校では新たな未来を創造する学びに挑戦し続けています。



〈探究系科目〉ピーススタディ (2,3年生選択授業)

「教室を出て社会に学ぶ」ことを通じて、「平和」、「環境問題」、「人権」といった大きなテーマに真正面から取り組みます。戦争やエネルギー問題などの具体的な社会的課題に対する自分なりの答えを探るべく、まずは身近なところに視点を持って探究を始めます。



〈探究系科目〉アート思考、サイエンス探究 (2,3年生選択授業)

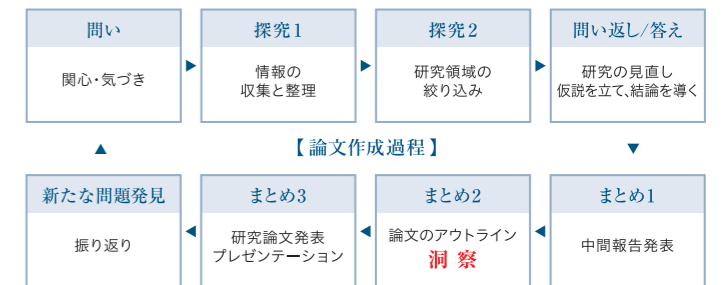
自分が関心のあるテーマを主体的に深めていけるよう、アート思考、サイエンス探究、AI活用といった個性豊かな探究科目を展開しています。学校外へのフィールドスタディを積極的に行い、自分の目で見たことや経験したことを学際的・実践的な課題解決プロジェクトに結びつけています。



読書科

本校で40年以上続く「読書科」の授業。探究テーマを生徒一人ひとりが自分の興味関心に応じて設定し、図書館の豊富な蔵書を用いながら問いを深めます。そして3年次に学びの集大成として一つの論文にまとめ、発表します。論文作成の過程で生まれた新たな「問い」を更に探究することで、大学での学部選択につながっていきます。

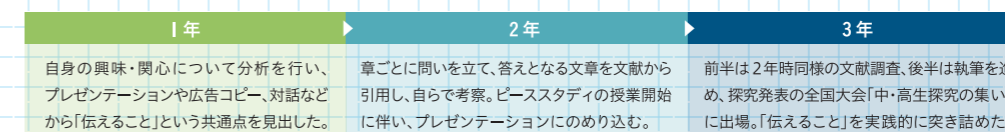
- 1年生 文献や論文の探し方、読み方を学ぶ
- 2年生 自分の興味関心を絞り込み、テーマを決める
- 3年生 具体的に文献調査をおこない、卒業論文を仕上げていく。



- 「近年の本屋大賞に選ばれる本の共通点とは何か」
- 「アメリカの教育は「自由」なのか」
- 「起業して成功するにはどのようにすればよいか」
- 「なぜ白銀のヒーローは愛されたのか」
- 「日本人の『無宗教』とは」
- 「新幹線の成功と失敗」
- 「日本ではどのように鉱山業が衰退したか」
- 「太宰治はキリスト教にどのような影響を受けたのか」
- 「なぜ宝塚歌劇団は100年以上も人々を魅了し続けることができるのか」
- 「SDGsは食品会社にどのような影響を与えているのか」

▶ Voice from the graduate 受験にしばられない高大一貫教育だからこそ、深く学べる環境があります

私の卒論テーマ「意思伝達にはどのような表現が効果的なのか」 2024年卒業 田中 さち
授業でのプレゼンテーションや礼拝で司会をするうちに、伝えることが好きなのだ気づき、効果的な意思伝達表現について理解を深めたくなりました。のめり込むきっかけは発信・伝達をする機会が多い、選択ピーススタディの授業。オバマ氏がスピーチに韻を取り入れ、聴衆の心を掴むという話を知り、韻に興味を持ち、ラップを聴くようになりました。試しに友人の誕生日に自作ラップを贈ると、多くの反響があり、韻の奥深さを再確認しました。高等部では、懐疑的な視点で物事を見る力、物事に新たな文脈を与える力、そして行動力がついたように感じます。計画、調査、考察を自主的に行う力は大学でも活かしていきたいです。





自主性を育む学び

「自由と自治」の校風を受け継ぐ校友会。文武両道を体現するクラブ活動。仲間と共に汗を流した経験も協働によって生まれた絆も人としての成長を促す糧となります。

在校生 対談 OB・OG

受け継がれてきた関学伝統のバトンを未来へつなぐ

バスケットボール部 藤川 健太郎 (キャプテン3年生) 対談 佐伯 啓斗 (関学大4年生)

藤川 佐伯コーチと初めて会ったのは、中学3年生で参加した体験練習会でした。たった2回の参加にも関わらず、チームのモチベーションの高さ、コーチの情熱が伝わってきてすぐ魅了されました。他校の受験も視野に入れていましたが、関学のバスケットボール部なら兵庫県一も夢ではないと確信して入学を決めたのです。

佐伯 練習会のことは僕も覚えています。バスケットボールにも勉強にも意欲の高い中学生が来てくれたと思ってワクワクしていました。当初の印象通り今も文武両道を買っていて、特にキャプテンになってからは技術だけでなく人間的にも大きく成長しましたね。

藤川 成長できているとしたら、いつも親身に相談に乗ってくださるコーチのおかげです。学校で話せない日も電話を介して技術面からプライベートなことまで細やかにアドバイスをいただけるので、本当にありがたいです。コーチの激励に心を動かされ、バスケットボールに懸ける思いがますます強くなりました。今一度初心に立ち戻り、夢の実現に向けて全力を尽くすつもりです。

佐伯 それは頼もしい！僕は高校2年の時に選手を引退し、それ以来コーチとしてチームに関わってきました。当時はさまざまな葛藤がありましたが、それでもコーチを続けてきたのは、顧問の先生が常々おっしゃっている「一つのことをやり遂げる」という言葉が心に響いたからです。やるからには最後まで全身全霊で取り組もうと覚悟を決めて、現在に至っています。



藤川 コーチの熱いご指導には確固たる信念があったのです。中学校時代は何事もすぐ諦めてしまっていた自分もクラブ活動を通して心身が鍛えられ、覚悟が備わってきたと自負しています。コーチの真摯な姿勢を見習って、必ず最後までやり遂げてみせます！

佐伯 コーチ生活6年目に入り、いよいよ終わりが見えてきました。これまでの集大成という意味でも、今年こそは兵庫県制覇を実現したいです。心をひとつにして、一緒に夢を叶えましょう。

ダンス部 阿部 くりあ (キャプテン3年生) 対談 山根 理子 (関学大3年生)

山根 今年も卒業生がコーチとして戻ってきてくれて、ダンス部の学生コーチは8人になりました。「もっとダンス部を盛り上げたい」、「先輩たちと一緒に自分も高みを目指したい」と同じ志を持った仲間が増えるたびに私のモチベーションが上がります。

阿部 ささまざまな角度からご意見をいただけるので、いつも助けられています。全国大会に出場できるようになった今でも入賞というハードルはまだ高く、特に高校からダンスをはじめた私は、もっと努力を重ねなければなりません。多くの壁にぶつかりながらもくじけず頑張っているのは、コーチたちのご指導のおかげです。

山根 全国大会入賞は、OGである私たちにとっても最大の夢でした。先輩たちがこの先どのように夢に近づいていくのか。私たちの代では成し得なかった大きな目標を実現するための一助となれるなら、こんなに嬉しいことはありません。

阿部 先生もそうですが、コーチたちも私たち部員の気持ちを尊重し、あたたかく見守ってくださっている印象です。これはダンス部の伝統でしょうか。技術面での確かなアドバイスをくださる一方、適度な距離感が保たれているので自分で考えるクセができました。日を追うごとにキャプテンの責任感も養われています。

山根 クラブ活動の主体は、選手です。ただ「あの時にこうしていれば」という悔しい思いは、選手より私たちの方が経験しているでしょう。



自分自身を振り返ってみて、決して妥協しない心の強さが何より大事だとわかりました。皆にもそれに気づいて欲しくて、技術面以外ではあまり口を出さないように心がけています。

阿部 私たちを信じて成長を後押ししてくださっているのですね。ありがとうございます。ダンスをはじめ2年余りとまだまだ未熟ですが、さらに高みを目指して私にしかできない演技を追求していくつもりです。そしていずれは、憧れの存在である山根コーチのように、大好きなダンス部に恩返ししていければと思います。

学友会 (生徒会)

高等部の生徒全員が加入する自治組織。自分たちの学校生活を自らで運営する、本校の「自由と自治」の精神を最も端的に表す存在です。10の委員会で構成され、学内行事の企画・運営ほか、学校生活に関わるあらゆる問題についての議論・議決を司ります。本校特有の、生徒の強い愛校心を育む一端ともなっています。

2024年度学友会スローガン

「Switch」

このスローガンは、「切り替える」力が、私たち高等部がさらに飛躍するために必要だと考えて決めました。以前から、行事など「動」の場面では非常に盛り上がるのに対し、講話を聴くなどの「静」の時への切り替えが課題だと感じていました。今年度、その点を改善するべく「Switch」を目標として掲げ、onとoffのメリハリのある行事運営や学校生活を作り上げていきたいと思っています。

学友会会長 3年生 笹田 桃子



Club Activities

Arts, Science & Religion
— クラブ活動 文化部 —

クラブ活動を通して目指すのは、「人」としての成長

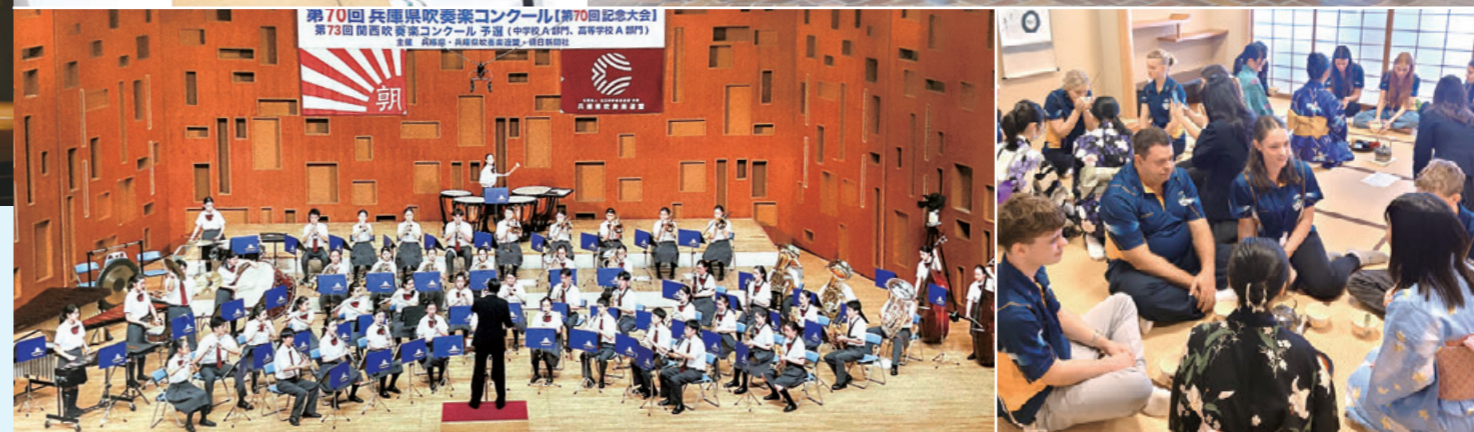


文化系クラブ一覧

- [学友会直属]・サービスマスターズ(チアリーダー) [宗教総部]・宗教部
[文化総部]
・E.S.S. ・コンピュータ部 ・吹奏楽部 ・美術部
・映画部 ・社会部(クイズ班・茶道班) ・数理科学部 ・理科部
・グリークラブ ・写真部 ・図書部

2023年度活動実績

- 【グリークラブ】兵庫県合唱コンクール 銀賞 【美術部】兵庫県私学連合美術展 優秀賞
【写真部】兵庫県総合文化祭写真部門 特選 【理科部】兵庫県総合文化祭自然科学部門発表会
研究発表生物分野 最優秀賞
【吹奏楽部】兵庫県吹奏楽コンクール 銀賞





Club Activities

Sports
— クラブ活動 運動部 —

「文武両道」を体現し、共に汗を流した仲間は生涯の宝物



運動系クラブ一覧

- ・アメリカンフットボール部(男)
- ・バスケットボール部(男・女)
- ・サッカー部(男)
- ・バレーボール部(男・女)
- ・剣道部(男・女)
- ・野球部(男)
- ・卓球部(男)
- ・ラグビー部(男)
- ・柔道部(男・女)
- ・陸上競技部(男・女)
- ・水泳部(男・女)
- ・卓球部(男・女)
- ・ダンス部(男・女)
- ・テニス部(男・女)
- ・ゴルフ部(個人登録のみ)

2023年度活動実績 兵庫県総体学校対抗順位 男子6位 女子9位

【アメリカンフットボール部】春季関西大会 優勝/秋季関西大会 出場【剣道部】全国総体、国体個人出場/近畿大会男子団体準優勝/兵庫県高校総体男子団体2位・女子団体3位【サッカー部】高門宮杯U-18兵庫県リーグ1部3位【柔道部】近畿大会 女子団体出場/兵庫県大会 男子団体出場【水泳部】全国総体、国体、全国JOC 個人出場/近畿大会出場/兵庫県高校総体男子4位・女子5位【ダンス部】DCC全国高校ダンス選手権 8位/全日本高校チームダンス全国大会 大編成部門9位【卓球部】(女子)近畿大会 団体・個人出場【テニス部】全国選抜大会 男子団体出場/国体5位/全日本ジュニア出場/近畿大会 男子団体II部1位/兵庫県高校総体 男子団体準優勝/兵庫県新人大会 女子団体5位【バスケットボール部】(男子)兵庫県予選3位/兵庫県新人大会3位/近畿新人大会 出場【バレーボール部】(男子)近畿私学大会 出場【野球部】秋季兵庫県大会 ベスト16【ラグビー部】全国選抜大会 出場/全国7人制大会6位/兵庫県予選 準優勝【陸上競技部】近畿ユース大会 男女個人出場/近畿大会 女子個人出場・男子リレー出場

「自由と自治」こそが、関西学院高等部らしさ



柔和で多様性と個性を重んじる「自由と自治」の校風。例えば、高等部にはアッセンブリーという全校集会があり、部活動や個人活動の表彰、全校生徒への連絡のほか、生徒が全校生徒に対し自らの意思を表明する場としても機能しています。特徴的なのは全校生から選任された生徒代表である学友会役員が議事進行を行い、先生方が原則口出しされないこと。青年期へと移行しつつあるまだまだ未熟な高校生に全てを任すのは先生方として内心はひやひやされると思いますが、そんな懐の深さこそ高等部が掲げる「自由と自治」の本質であり、「高等部らしさ」だと感じます。学友会活動を通じて得た学びは、自らの「生き方」の土台を形成してくれていると思います。現在、都市計画家として多様なあふれるコミュニティづくり、まちづくりに取り組んでいますが、多感だった高等部時代に得た学びこそ、他者との関わり方や働き方の基盤を成していると感じています。

KUROFUNE Design Holdings 株式会社
取締役（米国公認都市計画家）
井上 貴文さん 2009年卒業

「自由」から生み出される「熱」



「ここにKGボーイが集うのか」と、クリーム色の外壁・赤い瓦屋根を前に、心弾んだ日のことを覚えています。憧れていた校舎には、自由な校風を体現する熱く向上心溢れる生徒がいました。入学での自由とは、怠惰ではなく、何かに挑戦できる自由だと思います。様々なことに挑戦できる環境で、私は総勢約150人の野球部に入り甲子園を目指しました。しかし、西宮にある甲子園は近くて遠く、ましてベンチにすら入れない選手でした。ですが、「ベンチにすら入れなかった高校3年間」が今、糧になっています。試合で結果を出せず、逃避することもありましたが、文武共に研鑽するチームメイトがいたおかげで前を向けました。困難なことほど、立ち向かい挑戦する人間に成長したように思います。努力は報われないこともありますが、無駄にはなりません。生放送で思うようにいかなかったも、再び声を張れるのは、間違いなく高等部での生活・友との出会いがあったからです。皆さんが、「夢中になれること」・「熱量ある友」に巡り合えることを祈っています。

株式会社 TBSテレビ
アナウンサー
古田 敬郷さん 2018年卒業

苦手を強みに、そしてより高みへ

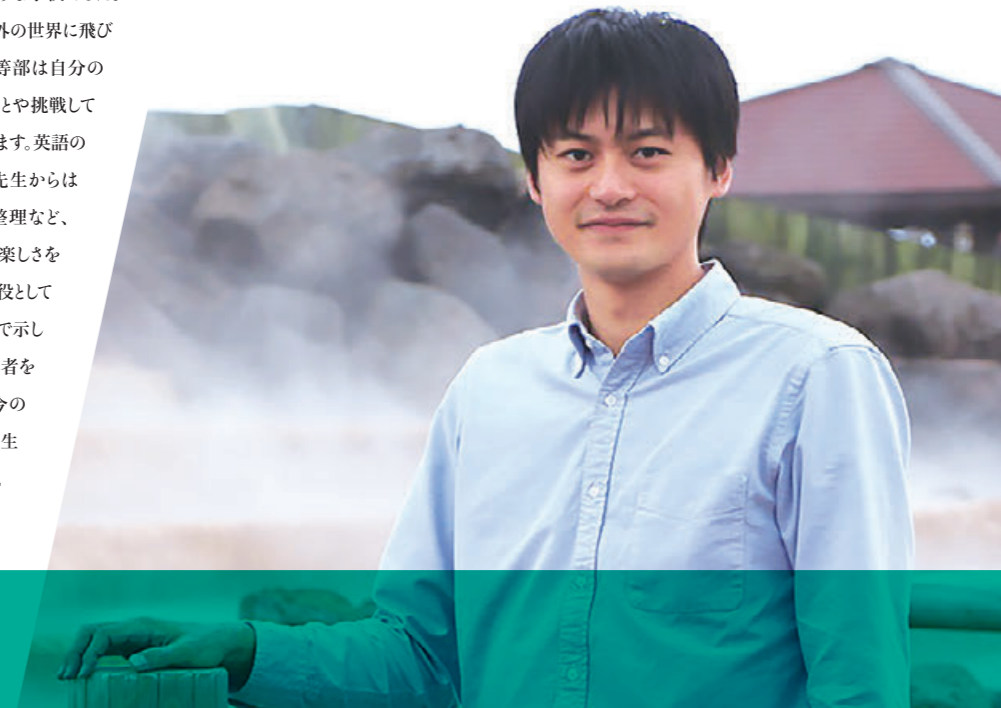
高等部は学友と切磋琢磨し、先生方の安心あるサポートのもと、常に高みを目指すことができます。高等部を一言で表すと「頑張る人の背中を多角的に押してくれる学舎」です。私は当時GLP*というプログラムに1年次から参加していました。引っ込み思案を克服したいと強く思っていた私にとって、特に印象的だったのが、GLPでのプレゼン大会でした。GLPに所属する先輩からプレゼン大会開催の話聞いたことがきっかけで、先生からの勧めもあり友人と2名で出場。結果的に優勝することができました。人前で話す事を完全に克服することはできませんでしたが、チャレンジ精神と準備力の強さという「自分の強み」を自覚する大きな機会となりました。ここで得た強みや自信は、自らが文系ながら理系出身者が多いシステムエンジニアを職に選んだという挑戦に直結します。準備力という点では、現在の仕事において、入念な準備をしてクライアントとの打ち合わせに臨むことで、お互いにとって最良の策へと導く思索の助けになっています。*グローバルリーダープログラム



TIS株式会社
システムエンジニア
西田 千鶴さん 2018年卒業

研究者として今も続く「自由な探究」

高等部は「自由」と「探究」という言葉がびっぴりな学校でした。当初私は、学校の世界がとても窮屈に感じ、早く外の世界に飛び出したいと思っていました。しかし、結果的に高等部は自分の好きな道を探る3年間になり、大学で勉強したいことや挑戦してみたいことを考える貴重な準備期間になったと思います。英語のスピーチコンテストでは、環境問題をテーマにし、先生からは知識を教わるのではなく、リサーチ方法や考えの整理など、自分の自由意志で探究し、さらにその先へ進んでいく楽しさを学びました。また文化祭では、1,000人以上の生徒のまとめ役として協働が求められ、口頭で説明するだけではなく、自ら行動で示し周囲の理解を得ていく。始まりは小さくても、少しずつ協力者を増やし「みんなのプロジェクト」にするリーダーシップは、今の仕事にも活かされています。みなさんにとっても、高等部の学生生活が自分の進みたい道を探る3年間になればと思います。



公益財団法人自然エネルギー財団
上級研究員
山東 晃大さん 2006年卒業

Facilities

— 施設・ICT —

広大な自然の緑と調和した施設で、先進的かつ主体的な学びを得る



関西学院/西宮上ヶ原
Campus Map

高等部エリア

ICT for Education

学びの基盤としてのICT環境設備

生徒全員がiPadを持ち、授業や連絡事項、学校行事など学校生活全般で活用しています。授業ではiPadを用いて生徒の意見を一齐に共有し、グループで意見をまとめる時はホワイトボードに書くなど、ICTとアナログを効果的に組み合わせた学びを展開しています。本校ではICT教育でも生徒の自主性を尊重し、使用するアプリに規定を設けず、教員と生徒代表のICT委員と一緒にルールメイキングしたうえで、生徒自身がより良いICTの活用法を探っています。高等部では、より学びを深めるため情報モラルを含め、生徒と共にICTの利用方法について考え続けています。



▶ Topics 生徒主体で活動する「ICT委員会」

ICTを通して高等部の自主自律を体現できるように活動している委員会です。ICT機器の使用方法やネットリテラシーを先生から教わるだけではなく、デジタルネイティブ世代である自分達が考え、提案し、実践する役割を担っています。生徒と先生の架け橋となり、学校に関わるすべての人がより良い環境になるよう努めています。

- 【主な活動】
- ① 高校の仲間、先生、保護者、小学生・中学生に情報モラル講演会を実施
 - ② 全校生を対象にした、ネットリテラシーに関する標語作成や動画作成
 - ③ 警察との情報交換や他団体への講演・共同活動など



School Life

— 学校生活 —

年間を通し、生徒主体の行事で仲間との絆を深める

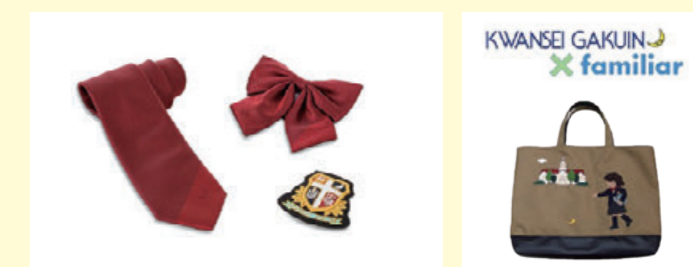


年間行事	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	<ul style="list-style-type: none"> ・新入生オリエンテーション ・入学式 ・クラブ紹介 ・実力テスト ・イースター礼拝 ・子ども会 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断 ・宗教週間の特別礼拝 ・(春季宗教運動) ・中間試験 ・避難訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ・県高校総体 ・学生会総会 ・進路学習(3年) ・学年宿泊行事(1年) ・学年校外行事(2,3年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・期末試験 ・芸術鑑賞会 	<ul style="list-style-type: none"> ・海外英語研修旅行 ・クラブ合宿 	<ul style="list-style-type: none"> ・創立記念礼拝 ・中間試験 ・宗教週間の特別礼拝(秋季宗教運動) ・キリスト教音楽コンサート ・KGスポーツ大会 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭 ・芸術鑑賞会 	<ul style="list-style-type: none"> ・期末試験 ・クリスマス礼拝 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路学習(2年) ・入学試験 ・卒業記念礼拝 ・卒業式 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年末試験 ・修学旅行(2年) ・進路学習(1年) 		

※2024年度の行事予定です



School Uniform 制服



ネクタイ・リボン・エンブレム

関西学院高等部
オリジナルレッスンバッグ

Daily Schedule 1日のスケジュール

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
8:10~8:20		早朝祈禱会 (自由参加)			
8:30~9:15	1時間目	授業			
9:25~10:10	2時間目	授業			
10:20~10:45	チャペル アワー	全校礼拝	アッセンブリー (生徒集会)	学年礼拝 人権講座	学年礼拝 人権講座
10:55~11:40	3時間目	授業	ホーム・ルーム	授業	
11:50~12:35	4時間目	授業			
		昼休み			
13:20~14:05	5時間目	授業			
14:15~15:00	6時間目	授業			
15:10~15:55	7時間目	授業(月曜日のみ)			

※平日の下校時刻は原則19時。ただし、大会前などには延長を認めています。
※土曜日は授業を行いません。

高等部での学びを活かすため、 多くの生徒が関西学院大学へ進学

関西学院大学での学びに向けて

高校時代に最も大切なことのひとつは、自分自身の将来や進路に向けて「自覚」を持つということです。勉強も、クラブ活動も、そこにはいろいろな「出会い」や「経験」があります。そして、その中で自分自身を見つめることが、未来に向かうための自信となり、エネルギーになるのです。大学進学だけを目標とするのではなく、生徒一人ひとりが、その先の将来への目的意識を持ちながら、勉学はもちろん何事にも積極的に取り組めるように、自ら「学ぶ力」、人生を「生きる力」につながる進路指導を行っています。

≫ 進学について（過去3年の進学状況）

	神学部	文学部	社会学部	法学部	経済学部	商学部	人間福祉学部	国際学部	教育学部	総合政策学部	理学部	工学部	生命環境学部	建築学部	他の大学
2022年度	0	28	50	46	65	75	21	25	16	10	2	13	4	7	14
2023年度	0	25	50	52	61	75	20	25	8	6	3	16	8	12	12
2024年度	0	25	50	30	68	75	20	25	19	13	0	12	2	8	20

関西学院大学推薦のための条件

1. 高校卒業条件を満たすこと
 2. 総点平均60点以上であること
(3年間および3年次の成績の総点平均が60点以上であること)
 3. 外部英語テストの成績が基準点に達していること
 4. 読書科の単位を取得し、卒業論文を提出すること
 5. 聖書科の単位を取得すること
 6. 自己推薦書を提出すること
 7. 推薦に値する生活態度であること
- ※一貫教育の理念を尊重するため、関西学院大学への推薦権を残したまま他大学を受験することはできません。

他大学合格者リスト (2024年度進学実績)

東京大学 国際基督教大学
 神戸大学 青山学院大学
 東北大学 兵庫医科大学
 大阪公立大学 神戸薬科大学 ほか

≫ 奨学金制度

関西学院高等部では、希望をもって学業に励み、将来、社会に貢献する人材として大きく成長することを願って、経済的に困難を抱えている生徒に対する奨学金制度を実施しています。奨学金には支給（返還義務のないもの）と貸与（返還義務のあるもの）があり、金額もそれぞれ異なります。この他に、次年度に大学進学を希望している生徒のために、進学前に大学入学後の日本学生支援機構奨学金の支給や貸与を予約しておくこともできます。関西学院大学では、入学時の学費援助のため入学時貸与奨学金が設けられています。

種類	金額
関西学院高中支給奨学金*	授業料(年額)から各種補助金等(*1)(年額)を差し引いた額の2分の1
関西学院高中貸与奨学金*	学費(年額)から各種補助金等(*1)(年額)を差し引いた額の2分の1 又は 3分の1 又は 4分の1
各都道府県高等学校奨学金	月額30,000円(兵庫県 自宅通学の場合)
地方自治体などによる奨学金	教育委員会等へ各自で問い合わせること
その他	各種 公益財団法人の奨学金 等

※各府県の各種補助金を受けても教育費の負担が困難な生徒を対象に、関西学院独自の奨学金制度を設け、修学が継続できるようにしています。
 (*1) 各種補助金等：高等学校等就学支援金制度、生徒授業料軽減補助制度(保護者が兵庫県在住)

≫ 授業料軽減等補助制度

私立高校生の方負担者に対する、府県の授業料軽減等補助制度があります。2024年度の兵庫県の支援額は次の通りです。※兵庫県以外については、未定です。

年収目安*	支援額
590万円程度未満	44,000円
590万円～730万円程度	120,000円
730万円～910万円程度	60,000円

※多子世帯への+10,000円の加算あり

≫ 高等学校等就学支援金制度

就学支援金は全ての高校生を対象に、国の費用により授業料に充てるため生徒に支給されるものです。2024年度支給額は次の通りです。

月額9,900円 年額118,800円 (所得制限あり・所得により加算支給あり)

KWANSEI GAKUIN University — 関西学院大学 —

関西学院大学学部紹介

神学部	聖書学や宗教学など「学問」としての神学を学びながら、広くキリスト教文化に熟達することを目指します。卒業後は伝道者、聖書科教員、非営利法人職員のほか、一般企業で活躍する人も。 ■キリスト教伝道者コース ■キリスト教思想・文化コース
文学部	文化・歴史・心理・文学や言語を研究し、それらが現代社会でどのような意義を持つのか、「人間とは何か」の本質に迫ります。広い視点・知見を育てるべく、複数のゼミを履修可能なのも特長。 ■文化歴史学科 ■総合心理科学科 ■文学言語学科
社会学部	個人と個人、家族、地域あるいは国家。人間はそうした集団に属して生きる社会性動物です。その集団における互いの関係性やそこから生じる事象を研究し、よりよい社会の実現を目指します。 ■社会学科
法学部	官僚法や法解釈学ではなく、社会の実態に即した法学研究「ソーシャル・アプローチ」が理念。法曹界や書士、企業法務職だけでなく、その知識を活かして金融やマスコミの世界に進む人も多数。 ■法律学科 ■政治学科
経済学部	1934年開設。経済学部としては国内最長の歴史と3,000名程の学生を有する伝統学部。社会を構成する人とモノ・お金の流れ(=経済)を倫理・歴史・政策的な側面から検証し、課題解決に繋がります。
商学部	1912年開設。次世代をけん引する「真に創造的な能力を有するビジネスパーソン」の育成に向けて、課題解決型学習(PBL)やオンライン留学(VE/COIL)といった最新の学修機会を活用し、6つの専門コースで理論と実践を同時に学びます。 ■経営コース ■会計コース ■マーケティングコース ■ファイナンスコース ■ビジネス情報コース ■国際ビジネスコース
人間福祉学部	「福祉」「社会起業」「こころと体」の分野をフィールドに、現代社会が抱える様々な問題解決の力を養成。学科を横断した学際的な学びや、実社会で実践的に学ぶ機会が多いことも特長です。 ■社会福祉学科 ■社会起業学科 ■人間科学科
国際学部	語学力の習熟はもとより、多様性を理解し共生できる「世界市民」を目指して、「文化・言語」「社会・ガバナンス」「経済・経営」を軸に世界を学びます。留学制度も豊富です。 ■国際学科
教育学部	「子ども理解」を軸とし、実践力・教育力・人間力を兼ね備えた教育者を育成。単に教員免許資格取得を目指すだけでなく、教育とは何かを問いつつ、あらゆる教育問題に取り組む意思を養います。 ■教育学科(幼児教育学コース・初等教育学コース・教育科学コース)
総合政策学部	自然環境、貧困、平和と人権、国家・民族間の対立……世界はあらゆる問題であふれています。これらを具体的に解決する方法を「政策」として立案し、実行できる人材育成を目指します。 ■総合政策学科 ■メディア情報学科 ■都市政策学科 ■国際政策学科
理学部	自然と自然界をつかさどる科学の法則を理解し、新たな真理を探究することで、柔軟かつ理論的な思考力と課題解決に挑む力を身につけます。 ■数理科学科 ■物理・宇宙学科 ■化学科
工学部	ナノテクノロジー・パワーエレクトロニクスと情報通信・AI技術により、人を中心とした持続可能な社会の構築に貢献します。少人数教育により、教員との距離が近い学びを実現します。 ■物質工学課程 ■電気電子応用工学課程 ■情報工学課程 ■知能・機械工学課程
生命環境学部	環境・食糧・健康など、現代社会の課題解決に挑む力を養います。実験科学とデータサイエンスを駆使した先進的な教育研究の拠点を構築します。 ■生物科学科 ■生命医科学科 ■環境応用化学科
建築学部	建築学から現代社会における課題の解決に貢献します。建築・都市を中心とした幅広い知識・技術・デザイン能力が身につきます。 ■建築学科

Admission

— 2025年度入学試験要項 —

A方式入学試験（一般入学試験）

出願資格

以下の1.から2.いずれかに該当する者。

- 2025年3月31日までに中学校またはこれに準ずる学校を卒業見込みの者。
- 2024年6月から2025年6月の間に、外国の学校教育における9学年の課程を修了した者、（ただし、すでに日本の高等学校に転編入学した者は受験できません）あるいは修了見込みの者。（ただし、合格し、入学を希望する場合は2025年4月に本校に入学することとします）

※専願志願者には、入学試験時の試験点数に30点程度加点します。

出願期間

2025年1月6日(月)～1月18日(土)

※2024年度入学試験よりインターネットでの出願になりました。

入学検定料 納入期間

2025年1月6日(月)～1月18日(土) ※クレジットカード・コンビニ・ペイジー決済

出願書類

- 写真票
- 志望理由および中学校での活動報告書（自筆）
- 調査書（本校所定の様式、学校長が証明し厳封したもの）

※2、3は本校ホームページに掲載します。

【郵送書類提出期限】

2025年1月6日(月)～1月22日(水) 必着

※書留または、レターバックプラスでの出願に限ります。

試験日・時間割

試験日	科目	時間	配点
2月10日(月)	国語	8:50～9:50(60分)	100
	数学	10:10～11:10(60分)	100
	英語	11:35～12:45(70分)	120
	昼食	12:45～13:30(45分)	-
	面接	13:40～	-

※英語はリスニングテスト約10分を含む。

※面接は受験生のみ。

合格発表

2025年2月13日(木)午前10:00

関西学院高等部ホームページ上に発表(URL:https://sh.kwansei.ac.jp/)

※合格者にのみ合格通知書及び入学手続書類を郵送します。

海外帰国生徒入学試験

出願資格

以下の1.から4.すべてに該当する者。

- 日本国籍を有する者、あるいは日本に永住する外国人。（在留資格が出入国管理および難民認定法に定める「永住者」）
- 本校を専願とする者。
- 海外に在住している者、または在住していた者で、次のいずれかに該当する者。
 - 保護者とともに継続して海外在住3年以上で、2024年3月1日以降に帰国の者。
 - 保護者とともに継続して海外在住2年以上で、2024年7月1日以降に帰国の者。
- 2010年4月1日以前に生まれた者で、次のいずれかに該当する者。
 - 2024年6月から2025年6月の間に、外国の学校教育における9学年の課程を修了した者、（ただし、すでに日本の高等学校に転編入学した者は受験できません）あるいは修了見込みの者。（ただし、合格した場合は2025年4月に本校に入学することとします）
 - 文部科学大臣の指定を受けた海外の全日制日本人学校中等部を2025年3月31日までに卒業見込みの者。
 - 帰国後、国内の中学校を2025年3月31日までに卒業見込みの者。

※2年以上、3年以上の海外在住とは、出国日から帰国日までの期間とします。

試験日にまだ海外在住の場合は、2025年3月31日を基準として計算します。

※出願資格について、不明な点があれば直接問い合わせてください。

出願期間

2025年1月6日(月)～1月18日(土)

※2024年度入学試験よりインターネットでの出願になりました。

入学検定料 納入期間

2025年1月6日(月)～1月18日(土) ※クレジットカード・コンビニ・ペイジー決済

出願書類

- 写真票
- 志望理由および中学校での活動報告書（自筆）
- 志願者調査票（自筆）
- 海外在留証明書（企業等が発行したもの）
- 海外在学中の成績証明書（帰国後日本の中学校に在籍する者は両方の成績証明書を提出）

※2～5は本校ホームページに掲載します。

【郵送書類提出期限】

2025年1月6日(月)～1月22日(水) 必着

※書留または、レターバックプラスでの出願に限ります。

試験日・時間割

試験日	科目	時間	配点
2月10日(月)	国語	8:50～9:50(60分)	100
	数学	10:10～11:10(60分)	100
	英語	11:35～12:45(70分)	120
	昼食	12:45～13:30(45分)	-
	面接	13:40～	-

※英語はリスニングテスト約10分を含む。

※面接は保護者同伴とする。

合格発表

2025年2月13日(木)午前10:00

関西学院高等部ホームページ上に発表(URL:https://sh.kwansei.ac.jp/)

※合格者にのみ合格通知書及び入学手続書類を郵送します。

募集人員	普通科第1学年 A方式（一般入学試験） 男女約100名 （海外帰国生徒若干名を含む） B方式（自己推薦入学試験） 男女約20名	入学検定料	20,000円（A方式・海外帰国生徒） 20,000円（B方式）
	試験会場		本校

B方式入学試験（自己推薦入学試験）

出願資格

以下の1.から3.すべてに該当する者。

- 2025年3月31日までに中学校卒業見込みの者。
 - 本校を専願とする者。
 - 中学校時代の成績について、以下の基準のいずれかを満たしている者。
 - 5段階評定の場合）
中学第3学年2学期末の3年次総合成績において、9教科5段階評定の合計が36以上の者。
（10段階評定の場合）
中学第3学年2学期末の3年次総合成績において、9教科10段階評定の合計が68以上の者。
- 次の①・②の項目は、判定に際し評価をする内容です。
- 生徒会活動やボランティア活動等、学校や地域で諸活動をおこない、学業との両立に積極的に取り組んだ者。
 - 文化・芸術・スポーツなど自ら興味の対象を持ち、それに打ち込み、学業との両立に積極的に取り組んだ者。
- （各種コンクール、展覧会、発表会、スポーツの大会、資格試験などの実績を証明する書類がある場合はそのコピーを添付してください）

※高校を併設している私立中学校および海外の諸学校からの受験はできません。また、海外の高等学校からの転編入学はできません。
※海外帰国生徒入学試験に出願した場合は、B方式入学試験（自己推薦入学試験）への出願はできません。

出願書類の配布

出願には成績基準等の出願資格を満たしている必要がありますので、在籍する中学校の先生を通じて出願書類の準備をしてください。（変更の可能性もありますので、本校ホームページを確認するようお願いします）

出願期間

2025年1月6日(月)～1月18日(土)

※2024年度入学試験よりインターネットでの出願になりました。

入学検定料 納入期間

2025年1月6日(月)～1月18日(土) ※クレジットカード・コンビニ・ペイジー決済

※A・B両方式に出願された方で、A方式合格者には後日、B方式の入学検定料を返金します。

出願書類

- 写真票
- 志望理由および中学校での活動報告書（自筆）
- 調査書（A方式入学試験との重複出願の場合は不要です）
- 活動報告書に関する資料のコピー（縮小コピー可）を貼付した用紙
- 自己推薦書（自筆）

※2～5の出願書類については、別途各中学校にご案内しますので、ご確認ください。

【郵送書類提出期限】

2025年1月6日(月)～1月22日(水) 必着

※書留または、レターバックプラスでの出願に限ります。

試験日・時間割

試験日	科目	時間
2月18日(火)	作文(500字程度)	10:40～11:30(50分)
	昼食	11:30～12:30(60分)
	面接	12:40～

※面接は受験生のみ。

合格発表

2025年2月19日(水)午前10:00

関西学院高等部ホームページ上に発表(URL:https://sh.kwansei.ac.jp/)

※合格者にのみ合格通知書及び入学手続書類を郵送します。

入学生の学費・その他の諸費

初年度納入金（2025年度入学生・予定）

（単位：円）	
入学手続Ⅰ （入学申込金または入学金）	200,000
入学手続Ⅱ （学費・その他の諸費※）	484,000
初年度2学期納入金 （納入期限 9月29日）	352,400
初年度3学期納入金 （納入期限 12月22日）	352,400
初年度納入金合計	1,388,800 （※その他の諸費273,800円を含みます）

※iPad®および関連費用を含む。

3年間の学費（2025年度入学生）

（単位：円）			
	第1学年	第2学年	第3学年
入学金	200,000	—	—
授業料	915,000	915,000	915,000
学費合計*	1,115,000	915,000	915,000

※上記学費に加え、その他の諸費を毎年納入いただきます。

納入方法
入学金：1回で全納 入学金以外は年間3回に分けて納入
納入期限
【入学申込金または入学金（入学手続Ⅰ）】 A方式〔専願〕・海外帰国生徒／2月20日（木）まで A方式〔併願〕／3月21日（金）まで B方式／2月26日（水）まで ※銀行振込に限る （ゆうちょ銀行・郵便局・ATM・インターネットバンキング不可） 【学費その他の諸費1期分（入学手続Ⅱ）】 A方式〔専願〕・海外帰国生徒／3月7日（金）まで A方式〔併願〕／3月21日（金）まで B方式／3月7日（金）まで ※銀行振込に限る （ゆうちょ銀行・郵便局・ATM・インターネットバンキング不可）

Information

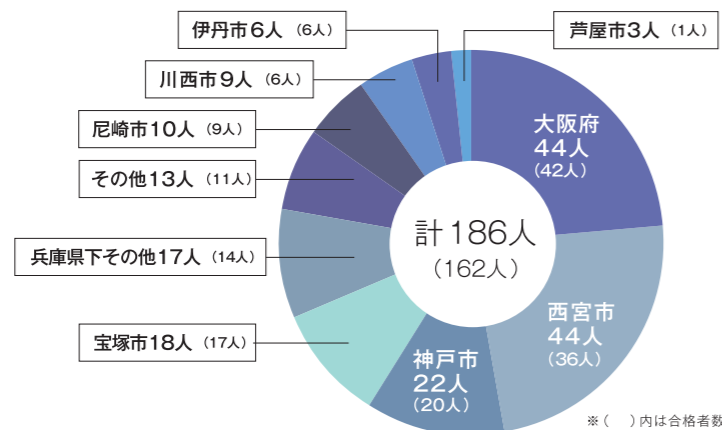
— 入試情報 —

入試DATA

	入試状況											
	2023年度						2024年度					
	A方式(一般入試)		海外帰国生徒入試		B方式(自己推薦入試)		A方式(一般入試)		海外帰国生徒入試		B方式(自己推薦入試)	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
募集人数	約100名		若干名		約20名		約100名		若干名		約20名	
志願者数	102	72	4	1	22	29	102	55	0	0	16	13
受験者数	100	72	4	1	21	29	102	55	-	-	16	12
合格者数	82	44	1	1	20	15	89	45	-	-	16	12
競争率	1.2	1.6	4.0	1.0	1.1	1.9	1.1	1.2	-	-	1.0	1.0
入学者数	81	41	1	1	20	15	87	44	-	-	16	12

地域別志願者

(2024年度)



Q & A

Q1 男女比はどうなっていますか？

A1 男女比は、概ね5：3で構成しています。入試もこれを前提としており、募集定員はA・B両入試方式をあわせて男子75名、女子45名程度としています。

Q2 A方式入試においては、調査書(内申書)はどの程度影響するのですか？ また調査書の内容は何を見るのですか？

A2 本校のA方式入試では、当日実施する3教科の試験成績を軸にしつつも、中学校での学校生活全般への取り組みの姿勢がわかる調査書の内容も加えて、総合的に合否判定をしています。9教科の成績、特別活動(生徒会活動、クラブ活動)など、調査書に記載された項目をくまなく見て、中学校生活にどのように取り組まれたかを総合的に確認させていただきます。

Q3 A方式入試とB方式入試の違いはどこですか？

A3 A方式入試は入試当日の試験成績を評価の軸としつつ調査書と面接の内容も加えて総合的に合否判定をします。それに対し、B方式入試では学力試験がありませんので、調査書の成績評定を学力評価に代え、その他の調査書の内容、当日の作文や面接の評価を加えて合否判定をしています。A方式入試は当日の学力試験重視、B方式入試は中学校での3年間の成績・業績重視といえます。

Q4 A方式入試で専願、併願の有利不利はありますか？

A4 専願受験生には、国語・数学・英語の合計点に30点程度の加点を行い合否を判定します。従って、専願が有利となる受験となります。なお、B方式入試は出願資格を専願に限らせて頂いております。※専願とは、合格した場合、必ず本校に入学することを意味します。

Q5 A方式入試とB方式入試の併願はできますか？

A5 A方式入試とB方式入試の併願は可能ですが、出願は同時期になっていますので、あらかじめA方式入試とB方式入試の両方に出願していただく必要があります。A方式入試で合格された場合は、B方式入試の受験は必要ありませんので、B方式入試の受験料は返還いたします。A方式入試とB方式入試は完全に切り離して行います。A方式入試の結果はB方式入試には全く関係しません。

Q6 面接の内容について教えてください。

A6 A方式入試・B方式入試共に個人面接で、A方式入試は教員2名、B方式入試は教員3名で行います。主な質問内容は、志望理由や中学校生活での学び、高校生活への意気込みなどについてですが、A方式入試が5分間程度であるのに対し、B方式入試は、15分間程度で当日の作文の内容も参考にしながらの面接となりますので、より深い内容についてお聞きすることになります。

Messages

— メッセージ —

「輝く自由」に出会う

「輝く自由」、関西学院校歌『空の翼』の一節です。関西学院高等部には「輝く自由」があります。あらゆる垣根を越え、何ものにも縛られることのない自由ほど素晴らしいものはありません。その自由の中でこそ、自分自身を鍛えることができます。そして、その自分自身からも自由になって、そこで得た力を他者の幸福に用いるとき、皆さん自身が輝くでしょう。「輝く自由」、ぜひ関西学院高等部で出会ってください。

関西学院 院長 中道 基夫



キリスト教を通して、他者に、世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心や真摯な態度を備えた人格を培うことを目標として、「自由と自治」を重んじて歩んできた高等部。

人生において最も多感な時期に、関西学院大学への推薦制度に支えられて、自分の可能性をどこまでも追求できるのが本校の魅力です。自分の興味関心に合わせた様々なチャレンジができる環境がここにはあります。建学の精神“Mastery for Service(奉仕のための練達)”を実践する「世界市民」になることをこの関西学院高等部で共に目指しましょう。

関西学院 高等部長 枝川 豊

